

SIKA MARINE PRODUCTS

Sikaflex®-291 vs Sikaflex®-292i



マリンマーケットで最も使われているシーカフレックス® 291と292i、用途や違いを良く聞かれます。そこでこのコーナーでは用途や使用場所等に関して詳しく説明いたしました。

### Sikaflex®-291 vs Sikaflex®-292i

Sikaflex®-291	Sikaflex®-292i	
<p><b>船舶用多目的接着シーリング材</b></p> <p>Sikaflex®-291は、船舶用途向けに特別に開発された、形状保持性の良い1成分形ポリウレタン系シーリング材で、空気中の湿気によって硬化します。</p> <p>Sikaflex®-291は、国際海事機関(IMO)の防火基準を満たしています。</p>	<p><b>船舶用多目的接着剤</b></p> <p>Sikaflex®-292iは、空気中の湿気との反応によって硬化する1成分形ポリウレタン系接着剤です。チキソ性のあるペースト状で形状保持性が良く、硬化後は非常に優れた接着性と良好な機械的強度を発揮します。</p> <p>Sikaflex®-292iは、国際海事機関(IMO)の防火基準を満たしています。</p>	
<b>適用範囲</b>		
<p>弾力性があり、耐振性のジョイントシールに適しており、内装のシール用途にも使用できます。Sikaflex®-291は、船舶で一般的に使用される、木、金属、金属用プライマー、2成分形塗装面、セラミック系材料、プラスチック(GRPなど)などによく接着します。Sikaflex®-291は、応力亀裂を起こしやすいプラスチック(例えば、プレキシグラス、ポリカーボネートなど)のシールには使用しないでください。</p> <p>硬化後Sikaflex®-291はサンディングできます。</p>	<p>Sikaflex®-292iは、強い振動や衝撃にさらされる船舶の各種部材の接着に適しています。金属、特にアルミニウム(アルマイト処理を含む)、金属用プライマー、2成分形塗装面、セラミック系材料、GRP(不飽和ポリエステル樹脂)やABSなどの樹脂の接着に適しています。応力亀裂を起こしやすい材料にSikaflex®-292iを使用する場合は、材料メーカーに確認の上、使用前に現物の被着材で試験を実施してください。</p>	
<b>プライマー・下地処理</b>		
<p>アルミ</p> <p>ステンレス</p> <p>FRP</p> <p>塗装金属</p>	<p>Sika®Aktivator-100</p> <p>Sika®Primer-207</p>	<p>Sika®Primer-207</p>
<p>木</p>	<p>Sika®Primer-290DC</p>	<p>Sika®Primer-290DC</p>
<p>PP</p>	<p>接着できません</p>	<p>接着できません</p>
<p>PE</p>	<p>接着できません</p>	<p>接着できません</p>



### SIKAFLEX PRODUCT SELECTION GUIDE

	Sikaflex®-290DC PRO	Sikaflex®-291	Sikaflex®-292i	Sikaflex®-295UV
<b>BONDING APPLICATIONS (接着用途)</b>				
一般的な接着		●●	●●●	
艦橋、甲板、ハル			●●●	
レール			●●●	
カバー類		●●		
<b>TEAK DECKING (チークデッキ)</b>				
チーク面接着		●●		
チーク接着		●●		
チークデッキコーキング	●●●			
<b>DIRECT GLAZING (ダイレクトグレーディング)</b>				
有機ガラス (PC,PMMA)				●●●
<b>SEALING APPLICATIONS (シーリング)</b>				
内装仕上げ		●●●		
外装仕上げ				●●●
上塗り塗装仕上げ		●●●	●	
ガラス周囲		●		●●●

●●●最適、●●適、●可